



2020.2.1

No. 204
12月
定例会

市議会だより

企画

「市民と議会の交流会

～議会報告会・意見交換会～」

を開催しました！



写真 「市民と議会の交流会」の様子(令和元年11月12日撮影)

CONTENTS

- 《企画》「市民と議会の交流会」を開催しました！
..... ②～⑤ページ
- 12月定例会の概要／議会日誌／議席の変更
..... ⑥ページ
- 市政に関する質問 ⑦～⑬ページ

- 常任委員会行政視察の状況..... ⑬ページ
- 常任委員会審査の概要..... ⑭ページ
- 審議結果／人事案件..... ⑮ページ
- 請願審査結果／3月定例会の予定... ⑯ページ

を開催しました！

第2部 意見交換

市民のみなさまと議員がグループに分かれて『**未来の甲府に望むこと**』をテーマにワークショップ形式で意見交換を行い、活発に議論いただきました。



意見発表

意見交換で議論された市議会や市政に対するたくさんの貴重なご意見を各グループの代表者の方に発表していただきました。



市民のみなさまからいただいたご意見については、4・5ページをご覧ください。

市民と議会の交流会

～議会報告会・意見交換会～

甲府市議会初となる「市民と議会の交流会」を開催し、多くのみなさまにご参加いただきました。

これからも「開かれた議会」を目指して、市民のみなさまとともに取組を進めてまいりたいと思います。

「市民と議会の交流会」概要

2日間で149名のみなさまにご参加いただきました！

日程

- ・11月11日(月)19:00～
(総合市民会館) 一般参加 76名
- ・11月12日(火)19:00～
(甲府市役所) 一般参加 73名

内容

【第1部】

甲府市議会の紹介、議会報告

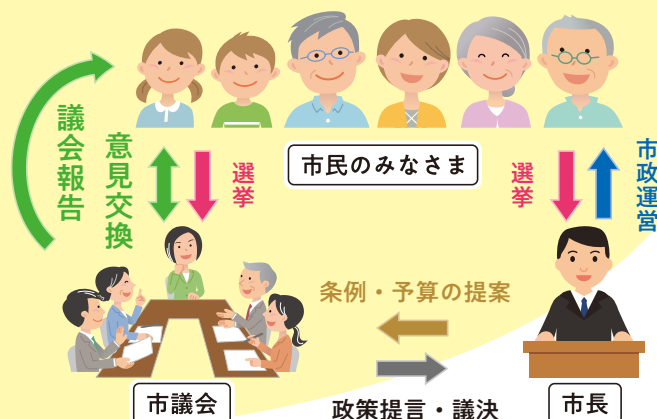
【第2部】

意見交換、意見発表



第1部 甲府市議会の紹介、議会報告

甲府市議会の紹介や二元代表制などについての説明を行った後、5月臨時会から9月定例会までの議会報告を行いました。



みなさまからの「声」を大切にしていきます。



産業

地場産業を活性化するため、中心街の空き家を利用して宝飾関係で起業できるような形が必要。

広報

行政が将来のビジョンをつくっているが、市民がなかなか理解するところまでいっていない。

子育て

高校3年生までの医療費無料化や、子ども食堂の取組を。

福祉

聴覚障がいのある方が一般の方と同じような活動ができるように。

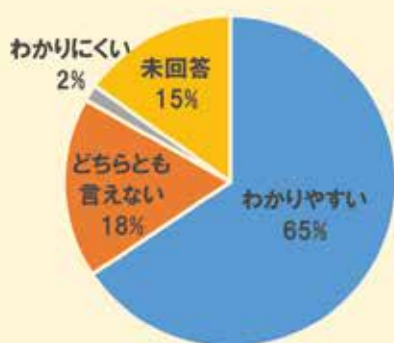


環境

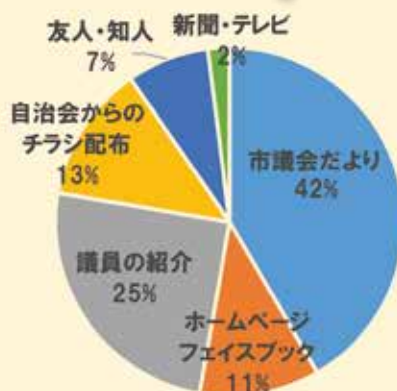
環境教育の一環として、使っていない畑や田んぼに植樹をして育てていくような取組を。

参加者アンケート結果(参加者 149 人中 125 人が回答／回答率 84%)

交流会はいかがでしたか？



何で知りましたか？



参加者の年齢



「市民と議会の交流会」へのご意見

- このような機会を持ったことは、第一歩だと思います。「開かれた議会」の推進を、より一層お願いします。
- 初めて甲府について意見をさせていただきました。20歳代の参加者が増えるともっと良いですね。
- このような機会をもっと増やしてほしいと思います。年齢層をまとめて開催すると良いと思います。
- 多様な意見があり、テーマを絞っての討議ができなかった。テーマごとに討議できたら良い。
- 第2部の時間が少ない。企業との交流会も必要なのではないか。

「市民と議会の交流会」でいただいた

このたびは、「市民と議会の交流会」にお越しくださしまして、誠にありがとうございました。

みなさまからいただいたご意見の一部をご紹介しますいただきます。ご意見は、市議会の中で調査・研究し、政策提言などへつなげてまいります。

まちづくり

歩行者天国をつくることで若者とファミリーが中心街に来られるようにしてほしい。



教育

高齢者の知識を子どもに受け継いでもらえるよう取り組んでもらいたい。

健康

健康セミナーの開催やサポーターの育成をして、みなさんが健康でいられる環境づくりを。



防災

洪水ハザードマップができたので、台風や大雨に対する訓練にも力を入れてほしい。

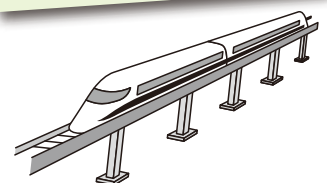


リニア

リニア駅に大きな駐車場を整備すると県外に人やお金が流出してしまうのではないかと。

議会

市民の声をどんどん吸い上げて政策にすることで甲府市を良くしてほしい。



甲府市議会は、12月定例会を12月4日から12月17日までの14日間の日程で行いました。

令和元年度甲府市一般会計補正予算(第3号)、甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定についてなど、市長から提案された31案件を審議、すべて原案のとおり可決・同意いたしました。

主な条例は、甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定についてで、住民基本台帳法に基づく公簿の閲覧手数料について公平性を確保するため、料金設定を改正するものです。

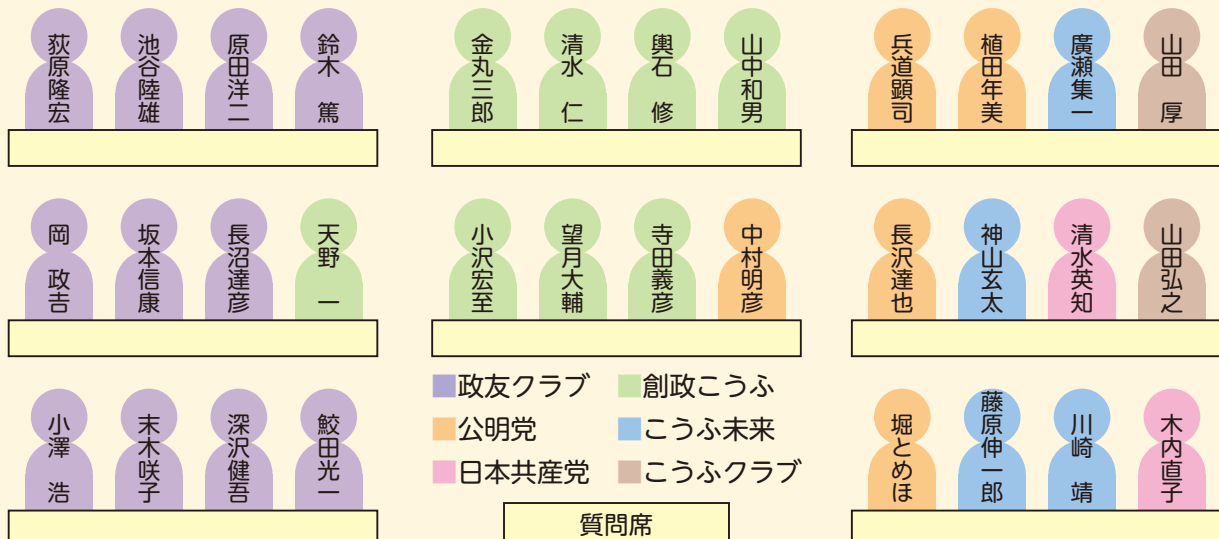
主な補正予算は、令和元年度甲府市一般会計補正予算(第3号)で、台風19号により崩落した市道平岡・前田線道路法面の復旧工事に係る経費等の補正となっています。

12月定例会の概要

議会日誌

10月9日(水)	総務委員会行政視察	12月4日(水)	会派代表者会議、12月定例会開会、
	経済建設委員会行政視察		本会議(提案理由の説明)、広報委員会
10月11日(金)	…13ページに詳細	12月9日(月)	議会運営委員会、本会議(議席の変更、
10月15日(火)	広報委員会委員研修会		質議及び市政一般質問)
10月23日(水)	中核市議会議長会	12月10日(火)	本会議(質議及び市政一般質問)
10月24日(木)	議会運営委員会	12月11日(水)	議会運営委員会、本会議(質議及び
10月29日(火)	議会運営委員会、全員協議会、議会		市政一般質問、提案理由の説明、
	制度調査研究会、リニア・公共交通		各常任委員会付託)
	調査研究会、まちづくり調査研究会	12月12日(木)	常任委員会(総務・民生文教)
11月5日(火)	「市民と議会の交流会」街頭PR・	12月13日(金)	常任委員会(経済建設・環境水道)
	リハーサル、正副委員長会議	12月17日(火)	本会議(各常任委員長報告、討論、
11月6日(水)	全国市議会議長会		採決)、12月定例会閉会、広報委員会
11月7日(木)	都道府県庁所在都市議長会	12月19日(木)	リニア・公共交通調査研究会
11月11日(月)	市民と議会の交流会	12月20日(金)	まちづくり調査研究会
11月12日(火)		令和2年	
11月15日(金)	会派代表者会議	1月7日(火)	広報委員会
11月29日(金)	議会運営委員会、会派代表者会議		

12月9日の本会議において、議席を変更しました。



公明党
代表質問（分割）

長沢 達也

老朽化しているインフラ
対策について

質問Q 本県や近県で被害のあつた台風による災害を踏まえ、インフラの整備・長寿命化等について、今後の取組、また、今後の方向性について伺います。

答弁A 台風19号により、JR中央線や中央自動車道等が被災し、通勤・通学や物流等に深刻な影響を及ぼしたことから、改めてインフラが果たす役割の重要性を認識したところです。

本市はこれまで、トンネル等の道路施設の総点検を実施し、修繕計画を策定する中で安全を確保するとともに、橋梁についても、近接目視点検を行い計画的な長寿命化対策を講じ、更に、緊急輸送道路等の重要路線は、路面下の空洞調査に着手し、異常が発見された全ての箇所を補修しました。

今後も、予防保全を基本とし、長寿命化修繕計画等を策定する中で、計画的に施設の適正な維持管理に努めてまいります。

高齢者等の生活のための
移動手段について

質問Q 高齢化社会の中で、移動手段を持たない方々が増えています。官民連携による利便性の高いデマンド型タクシー制度の導入について見解を伺います。

答弁A 本市が将来にわたり持続可能なまちとなるためには、都市基盤の整備とともに、地域公共交通の充実を図っていくことが重要であり、タクシーには、自宅の玄関先から目的地まで行ける高い利便性があることから、高齢者等の移動手段として適している公共交通であると考えています。

本市では、甲府市地域公共交通網形成計画において、バス・タクシー事業者等と連携し、新たな公共交通の導入について検討することとしており、今後は、高齢者等が使いやすい、本市にとって最適かつ持続可能な公共交通体系の実現に向け調査・研究してまいります。



その他の質問事項

・健康都市宣言後の健康づくりについて 他

こうふ未来
代表質問（一問一答）

神山 玄太

甲府市立地適正化計画策定
後の市街化調整区域の開発・
建築行為について

質問Q コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりが求められるのは、人口減少等に対応し、財政面や経済面において持続可能な都市経営を実現させるためです。本計画を策定し、居住誘導区域に居住を促すのであれば、市街化調整区域の開発をより抑制すべきと考えますが、今後の方針について伺います。

答弁A 本市では、市街化調整区域において持続できる集落地域づくりと市外への人口流出防止策の一環として都市計画法第34条第11号に基づく条例を制定し、開発許可制度を運用してきました。甲府市都市計画マスタープランでは、地域特性を活かした土地利用を図るため開発許可制度の運用改正に取り組むとしており、郊外での住宅開発等のあり方を検討する必要性があると考えています。

甲府市立地適正化計画が
本市の都市の価値に及ぼす
影響について

質問Q 財政面や経済面において持続可能な都市経営を実現させるためには、都市の価値を向上させ、多くの民間投資を呼び込むことが重要と考えますが、本計画の実施による本市の価値の向上について伺います。

答弁A 本計画では、甲府駅周辺を中心に歴史・文化が感じられる空間形成を進め、公園と動物園の一体的な整備を行い、また、日常生活を支える南甲府駅周辺等の4つの区域では、福祉・子育て等の施設の誘導を促進するとしています。こうした各種施策の取組により都市全体の魅力が向上し、多様な交流による賑わいが創出されることで経済の好循環につながり、本市の価値が向上するものと考えています。



その他の質問事項

・甲府市立地適正化計画の推進について 他



日本共産党
代表質問（分割）

清水 英知

妊婦健康診査について

質問

妊婦健康診査の費用を、血液検査も含め、全て公費負担とすることを求めますが、見解を伺います。

并A 答

妊婦健康診査は、平成21年度より公費負担を5回から14回に拡充するとともに、H T L V ー抗体検査等に加え、山梨県内の全市町村が市長会・町村会に委託し、統一的に実施しています。

本市では、妊婦健康診査はもとより、特定不妊治療や産婦健康診査等への費用助成を行うとともに、成人歯周疾患健診への妊婦適用など、産前・産後の経済的支援の充実にも努めており、全国的にみても妊娠・出産に伴う支援を幅広く展開していると考えています。

このことから、妊婦健康診査費用の公的負担は、産前・産後の総合的支援の中で継続実施するとともに、今後も、子育て世代の皆様が安心して妊娠・出産できる環境づくりに取り組んでまいります。

公立病院・公的病院の再編について

質問

厚生労働省が再編・統合の検討を必要とする病院として山梨病院を挙げたことに対し、抗議すべきと考えますが見解を求めます。また、同病院が果たしている役割について見解を伺います。

并A 答

厚生労働省が再編・統合の検討が必要な病院名を公表したことは、医療や介護の需要拡大が見込まれる2025年を見据え、公立・公的医療機関の役割等を検証し、必要な協議を促進するためであったと理解しています。

山梨病院は、医師会や地元自治会などの関係団体等と意見交換を重ねる中で、地域の実情に対応した医療を行っており、特に入院から在宅復帰に向けた地域包括ケア病棟の活用等、きめ細かな医療を提供するとともに、地域の病院や医師会を対象とした研修会を実施するなど、今後も更に、地域医療に貢献いただけるものと考えています。



その他の質問事項

・気候非常事態宣言について 他



こうふクラブ
代表質問（分割）

山田 弘之

解散した自治会への対応について

質問

本年5月に桜北自治会が解散し、補助金が交付されなくなりましたが、防犯街路灯が維持できなくなれば、景観上や防犯上の問題があると考えますが、見解を伺います。また、自治会が行っていた広報誌等の配布物の対応についても伺います。

并A 答

地域の防犯街路灯は、各自治会が主体的に維持管理を行っており、こうした自治会の活動に一定の支援を行っています。近年、少子高齢化等により自治会の運営自体が危ぶまれる地域も出てきている中、自治会の解散により街路灯の維持管理が困難になると、防犯面等も懸念されるため、支援等のあり方について検討してまいります。

また、広報誌等の配布については、引き続き近隣の公共施設でお渡しいたしますので、ご理解をいただきたいと思います。

今後も、存続が困難となった自治会に対しましては、自治会連合会と連携し隣接する自治会との統合等に向け取り組んでまいります。

山宮あすなろ学級本級について

質問

あすなろ学級本級が設置されている山宮町の教育指導研究センターは、建物が老朽化しており、トイレは和式で薄暗く寒々しい状況で、子どもたちのニーズに合っていないと考えますが、今後の対応について伺います。

并A 答

現在、山宮町のあすなろ学級本級には、北部・西部地域を中心に14名の児童・生徒が通っていますが、施設全体の老朽化が進んでおり、トイレの洋式化も未対応の状況です。

こうした中、今年度策定された甲府市公共施設再配置計画において、当該施設は短期的に集約化・複合化・統合を目指す施設とされたことから、今後の方向性について様々な角度から検討してまいります。

その他の質問事項

・創作の森おびなについて 他





政友クラブ
代表質問（分割）

池谷 陸雄

開府500年当年終了に際しての総括と今後について

質問 Q

所期の目的である「甲府への愛着を深め、誇りをもち、そして未来に向けて新たな時代を創りだす」ための、これまでの取組をどのように総括し、未来につなげていくのか伺います。

并 A

基本理念に「過去に学ぶ」「未来につなぐ」を掲げ、甲府の重層的で多様な歴史・伝統・文化等を未来に継承するとともに、こうふ愛の醸成に重点をおいた事業として、甲府フーニング・スपीチ事業や私の地域・歴史探訪事業を柱として推進してまいりました。

開府500年の当年は終了となりますが、こうした事業は、新たな甲府の創造につながる事業であり、甲府の未来づくり・まちづくりには、人づくりが極めて重要であることから、今後も未来に残すべき事業として、しっかりと継続して推進してまいります。

農産物における甲府ブランドの推進について

質問 Q

農産物のブランド化や認知度向上は大変重要であると考えますが、農林産物部門における甲府ブランドの更なる推進に向けた今年度の取組と今後の展開について伺います。

并 A

本年度は、子どもたちにも甲府ブランドを知ってもらうため、甲府の証に認定している食材を使用した料理のアイデアを募る親子レシピコンテストを初開催し、多数の応募をいただきました。

また、太陽のマルシェや首都圏への販売促進活動を実施し、周知と販路拡大に努めたほか、スモモの「木成り甘熟大石早生」を新たに甲府ブランドとして認定しました。

今後、ブランド化する農産物の掘り起こしや厳格な品質管理を行うとともに、県外市場に向けたプロモーションの展開等により、更なる甲府ブランドの認知度向上に努めてまいります。

その他の質問事項

- ・甲府市観光振興基本計画について 他



創政こうふ
代表質問（分割）

山中 和男

リニア駅・甲府駅間を結ぶルートと渋滞対策について

質問 Q

リニア駅と甲府駅を結ぶ最適なルートと交通渋滞緩和策、また、両駅間の移動手段について見解を伺います。

并 A

山梨県バス交通ネットワーク再生計画において、両駅を結ぶルートは、速達性や利便性等の観点から国道358号が優れているとされており、このルートを県内のバス交通ネットワークの基幹軸と位置付けています。

また、交通渋滞対策と移動手段は、交差点改良など交通基盤の整備や技術進歩を踏まえた交通システムの導入検討等を視野に入れることとしています。

これを受け、本市でも、甲府市地域公共交通網形成計画において、リニア駅と甲府駅を結ぶルートを新たな公共交通軸と位置付け、このルートへの燃料電池バスやEVバスのほか、自動運転バス等の導入について、山梨県の計画と整合

を図っていくこととしました。

インフルエンザ出席停止後の登校許可について

質問 Q

インフルエンザにかかった子どもが回復して再び登校する際の登校許可書の提出について、柔軟な対応を求める声もありますが、見解を伺います。

并 A

本市の小中学校におけるインフルエンザによる出席停止後の登校許可は、集団感染の防止のため、医師の診断による登校許可書の提示を求めています。

しかし、登校許可書を提示できない場合には、学校保健安全法施行規則に規定された、発症後5日かつ解熱後2日を経過した児童・生徒は、保護者から詳細な状況を聞き取り、登校を許可しています。保護者の記録により登校を許可する自治体が出てきていることから、今後は、学校や医師会等と協議する中で、本市における登校許可のあり方について検討してまいります。

その他の質問事項

- ・緊急輸送道路の無電柱化について 他





公明党
一般質問（分割）
中村 明彦

骨髄移植ドナーの登録推進について

質問Q 本市職員の骨髄提供休暇制度の利用実績と、骨髄提供していただいた市民に対する助成の交付実績、また、骨髄移植ドナー登録者を増やすための普及啓発の取組について伺います。

回答A 本市では、骨髄提供休暇制度を創設し、平成30年に1名の職員が休暇を取得しています。

また、市民が骨髄移植ドナーとして休業等を取得した際の経済的負担を軽減するため、骨髄移植ドナー助成事業を創設し、現在までに3名の方へ助成を行っています。

現在、ドナー登録者を増やす取組として、健康ガイド等による周知や日本赤十字社山梨県支部等との連携による献血会場での呼びかけを行っています。また、新たに成人式会場での周知や大学等へ講演会の実施を働きかけるなど、ドナー登録を呼びかける機会を増やす中で、登録の推進に努めてまいります。

骨髄移植後のワクチン再接種への助成について

質問Q 骨髄移植後は、ワクチンの再接種が推奨されていますが、このワクチン再接種への助成について、どのように取り組まれているか伺います。

回答A 骨髄移植後のワクチン再接種は、予防接種法で任意接種扱いとなり全額自己負担となることから、平成30年7月時点では、全国の約5%の自治体で一部又は全額の公費助成を行っています。

本市では、再接種についても副反応に対する救済や、国からの財政措置を受けられる定期接種化が望ましいと考えていることから、国に直接要望するとともに、山梨県に対し、県市長会を通じて国への働きかけを要望したところです。今後、現在、厚生労働省で再接種の定期接種化を審議していることから、その動向を把握する中で、引き続き国に対し要望してまいります。

その他の質問事項

・逆ヘルプマークの導入について



他



こうふ未来
一般質問（一問一答）
藤原伸一郎

浸水想定区域を居住誘導区域としたことについて

質問Q 甲府市洪水ハザードマップにおいて最大浸水深が深いとした地域を、甲府市立地適正化計画の素案では居住誘導区域としたことについて見解を伺います。

回答A 甲府市洪水ハザードマップでは、甲府盆地特有の地形や河川の状況により、JR中央線の南側のほとんどが浸水想定区域になっています。

甲府市立地適正化計画では、これまで甲府駅周辺を中心にまちが形成されてきた経緯や市街地では既に一定の人口密度を有していることなどから、全ての浸水想定区域を居住誘導区域から除外することは困難であると考えています。今後は、居住誘導区域に浸水想定区域が存在していることから、水路整備等の浸水対策を進めるとともに、自然災害リスクへの意識を高めるため、ソフト面における減災対策の充実にも努めてまいります。

立地適正化計画における防災・減災の観点について

質問Q 甲府市立地適正化計画の上位計画である第六次甲府市総合計画や甲府市都市計画マスタープランにわたって、策定中の本計画において、どのように反映していくのか伺います。

回答A 甲府市立地適正化計画では、まちづくりの方針の一つとして、災害に対して安全で安心な居住環境の形成を掲げています。その施策では、インフラ整備では対応できない災害が発生する可能性を踏まえ、災害リスクの周知など、地域コミュニティの中で防災意識を高めながら、災害時に迅速な行動ができるよう、避難訓練の実施や防災リーダーの育成等に取り組むこととしています。

今後、こうした施策を推進し、市民の自然災害に備えるための意識醸成に努めてまいります。

その他の質問事項

・災害リスクを考慮したまちづくりについて



他



こうふ未来
一般質問（一問一答）

川崎 靖

公共交通空白地域におけるバスの運行について

質問 Q 甲府市立地適正化計画の居住誘導区域内における公共交通空白地域では、交通手段を確保するための民間委託バスやデマンドバス等の運行を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

回答 A 路線バス等の地域公共交通は、利用者が減少しており、採算性の低い路線は運行本数の削減や路線自体の廃止が懸念されることから、既存の公共交通を未来に残していくため、こうふエコ通勤デーへの参加協力事業所の拡大や個人の利用ニーズに応じた専用時刻表の提供など、利用促進の取組を積極的に展開しています。また、甲府市地域公共交通網形成計画においても、公共交通空白地域等への公共交通サービスの提供について検討するとしていることから、今後も、最速かつ持続可能な公共交通体系の実現に向け、調査・研究してまいります。

無人バスの導入について

質問 Q 全国各地で実証実験が行われている無人バスを導入することについて見解を伺います。

回答 A 近年、自動運転技術を活用した無人で公道を走る車両を使用した実証実験が、一部の地域において実施されています。また、リニア開業に伴う先進的な交通手段の導入等により、まちの魅力向上が期待されています。こうした中、リニア駅と甲府駅を結ぶルートについては、山梨県バス交通ネットワーク再生計画において、今後の技術進歩を踏まえた交通システム、燃料電池バス、自動運転システム等のハイグレイドなバス交通の導入等の検討も視野に入れ、県内バス交通ネットワークの基幹軸となることを目指すとしています。

今後は、当該基幹軸へ導入するバス交通について協議が行われる山梨県交通政策会議の動向を注視してまいります。

その他の質問事項

・公共交通機関の利用者にやさしい環境づくりについて 他



政友クラブ
一般質問（分割）

原田 洋二

小中学校への防犯カメラの設置について

質問 Q 小中学校における在校時の安全対策についてお示しください。また、学校施設への防犯カメラの設置状況と、今後の新設・増設について伺います。

回答 A 児童・生徒在校時の安全確保を図るため、学校ごとにマニュアルを整備するとともに、緊急通報システムを小学校の全教室に設置してきたところです。

また、不審者が侵入した場合の対策として、全ての小中学校で避難経路等を確認するための訓練や実際の場面を想定した教職員研修を実施しています。

更に、出入口に死角がある学校や、以前に犯罪が発生した学校など、小学校4校と中学校5校に防犯カメラを設置しており、設置後は、不審者の侵入等の報告はなく、犯罪発生を抑止に高い効果があることから、全ての小中学校に設置していきたいと考えています。

放課後児童クラブについて

質問 Q 放課後児童クラブの利用状況と、今後、利用児童が増加した際の対応について伺います。

回答 A 本年11月の登録児童数は、25の直営の施設に1337名、10の民間委託の施設に308名、合計1645名です。

こうした中、運営にあたっては登録児童数が増加傾向にあることを踏まえ、利用状況等を分析し必要なクラブ数を把握することが重要となっており、これまでも民間委託の放課後児童クラブの開設については、学校敷地内を検討する中、直営施設での受け入れが困難な場合に、民間事業者に委託してきたところです。

今後の放課後児童クラブの開設等についても、余裕教室の活用や民間委託など、様々な手法による検討を行い、安全・安心な放課後児童クラブの確保を図り、子育てがしやすい環境の整備に努めてまいります。

その他の質問事項

・産前産後の支援の充実について 他





政友クラブ
一般質問（分割）

小澤 浩

日本女性会議2021 in 甲府について

質問 Q 2年後に開催する日本女性会議2021 in 甲府の目的、理念、基本方針等について伺います。

回答 A 日本女性会議2021 in 甲府は、大会の目的を「男女共同参画社会の実現」と「女性が活躍する社会の実現」とし、目的達成に向けた理念を「個の多様性を理解すること、男女共同参画の実現に向けた意識をより前進させる大会とする」としました。

この理念に基づき「女性の多様な価値観を尊重し、共感できる人を増やす大会」、「性の多様性を理解し、個性を認めあう大会」、「市民・市民団体と産・学・官の連携・協働が、より促進される大会」など、5つの基本方針を設定し、目指すべき方向性を明らかにしたところであり、この大会が盛大に開催されるよう全力を傾注してまいります。

甲府市食品リスクコミュニケーション・養成事業について

質問 Q 甲府市食品リスクコミュニケーション・養成事業の内容と、受講者の地域における今後の役割について伺います。

回答 A 本事業は、食品のリスクや管理方法等について、正しい知識を習得し、正確に情報を発信できる市民を養成することを目的としており、大学教授等による食品安全の講義や、食材の添加物や残留農薬等の管理方法を学ぶ実地研修を行います。

また、マスコミユニケーションの専門家により正しい情報を選択・伝達する能力を身に付ける講座を設けるなどの特徴があります。

養成講座修了者は、自治会のイベントや職場等において、食品安全の勉強会など地域での自発的な啓発活動を行うとともに、保健所が主催する健康教室や食育に係るイベントへの参加など、保健所業務とも連携していただくことを考えています。



その他の質問事項

・プログラミング教育について他



創政こうふ
一般質問（分割）

天野 一

健康マージャンの普及について

質問 Q 高齢者向けの介護予防等として注目されている健康マージャンの普及に向け取り組んではいかかと思いますが、見解を伺います。

回答 A 健康マージャンは、介護予防や認知症予防、生きがいづくりに一定の効果を期待させる取組として関心が高まっており、本市でも、一部の地域や団体の自主的な企画・運営により実施されています。

こうした介護予防等に資する活動は、地域の皆様方が主体的に、趣味や娯楽系、運動系のもので幅広い選択肢の中から、参加者の意向等も考慮し、自主的に実施する必要があることから、健康マージャンも地域における効果的な活動の一つとして取り組んでいただくことが望ましいと考えており、いきいきサロン等の活動事例として情報提供に努めてまいります。

子どもをスマートフォンやインターネットの危険から守る対策について

質問 Q 子どもがインターネット等を正しく活用できるよう指導する情報モラル教育の取組と、大阪市の児童誘拐事件を受けた対策について伺います。

回答 A 本市では、情報モラル教育を指導重点に掲げ、各校において情報社会のマナー等を身に付けるための教育や県警の少年対策官による講演会等を行っています。

また、ノー・テレビ・スマホ・ゲーム・デーを設け、スマートフォン等との付き合い方について見つめ直す取組を広めています。

更に、大阪市での事件を受け、改めて生徒指導担当教員の研修会等を通じ、スマートフォン等の安全な使い方について指導を徹底するよう指示したところです。

今後も、危険に対する判断力や心構えを身に付けるための情報モラル教育を充実してまいります。



その他の質問事項

・市民協働レポートシステムの導入について 他

学校の安全について



創政こうふ
一般質問（分割）

寺田 義彦

質問 Q

甲運小学校内への不審者侵入事件を受けての対応と、今後の更なる防犯対策の強化について伺います。

答弁 A

今回の事件を受け、全小中学校へ登校後の校舎出入口の施錠確認や不審者と遭遇した際の対応についての指導と、来校者への確認等、これまでの取組の徹底を再度、指示したところです。当該小学校では、通学路への教員の配置とともに、校舎の出入口や死角になる場所へ防犯カメラを設置し、また、警察によるパトロールやスクールガードによる見守り等の強化を要請したところです。

学校での防犯は、教職員の安全管理意識の向上や児童・生徒の危険予測・危機回避能力の育成、地域や関係機関との連携など、総合的な取組が必要となるため、新たに学校防犯をテーマとした教職員研修を行うなど、防犯対策の強化に取り組んでまいります。

有害鳥獣対策について

質問 Q

有害鳥獣による農業被害の状況と課題についての認識、また、今後の被害防止対策について伺います。

答弁 A

本市では、被害防除施設の設置に係る費用の助成や鳥獣被害対策実施隊員による捕獲・駆除のほか、シカ、イノシシの管理捕獲を行っています。

こうした対策により、大型獣の被害は減少傾向にある一方、管理捕獲の対象となっていないハクビシンやアライグマ等の小型獣による被害が増加しており、更には、鳥獣被害対策実施隊員の新たな担い手が不足している状況です。

鳥獣による被害は、地域農業に深刻な影響を及ぼすため、今後も狩猟免許取得の支援等を行う中で、鳥獣被害対策実施隊員の増員に努めるとともに、民間企業等との連携や新技術の活用についても調査・研究を行い、効果的な対策に努めてまいります。

その他の質問事項

- ・外国人未就学児の保育環境について 他



常任委員会行政視察の状況

議会閉会中でも、議案審査の参考にするため調査活動を行っています。

総務委員会

実施日：令和元年10月9日～11日

○視察場所・視察項目

- 〈大阪府吹田市〉 ・吹田市の公会計制度について
- ・市立吹田サッカースタジアムの指定管理について
- 〈大阪府寝屋川市〉 ・人事制度について
- 〈石川県金沢市〉 ・日本女性会議について



吹田市での視察の様子



京都市での視察の様子

経済建設委員会

実施日：令和元年10月9日～11日

○視察場所・視察項目

- 〈愛知県江南市〉 ・いこまいCARについて
- 〈京都府京都市〉 ・中小企業や創業者への技術支援と後継者人材育成及び京都市産業技術研究所について
- ・京都市動物園について
- 〈滋賀県近江八幡市〉 ・近江八幡版 DMO 形成計画について

※民生文教委員会、環境水道委員会の行政視察については、台風 19 号の影響で延期になりました。

常任委員会審査の概要

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

常任委員長
報告要旨

民生文教 委員会

委員長：中村明彦 副委員長：深沢健吾
委員：岡 政吉 天野 一 寺田義彦
川崎 靖 木内直子 山田 厚

◆議案第101号 甲府市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

資格要件の緩和により、保育従事者の質の確保が保証できるか懸念されるため反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第102号 甲府市斎場条例の一部を改正する条例制定について

斎場使用料の引き上げにより使用者の負担が増えることから反対であるとの意見と、県内他市等の斎場使用料と比べ本市の使用料は安価であり、また、老朽化する斎場の維持管理への対応が必要であることから、今回の改定は賛成であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第103号 甲府市市立高等学校授業料、入学料及び入学審査料条例の一部を改正する条例制定について 他1案

2案については、卒業生等が就学や就職に必要な証明書発行に係る手数料の引き上げは反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第105号 甲府市立学校校舎等使用料条例の一部を改正する条例制定について 他1案

2案については、健康都市を推進していく上で運動照明施設使用料の引き上げには反対であるとの意見と、夜間照明施設のLED化により運動場が明るくなるなど利便性が向上しており、維持管理経費を含む中で算定した使用料となっていることから賛成であるとの意見があり、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第125号 甲府市学校職員給与条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、給与面だけではなく、職員の確保についても検討していくよう求める意見がありました。

◆議案第95号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第3号)中民生文教委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、需用費については、よりの確に算定するよう求める意見がありました。

◆議案第99号 甲府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について 他4案

5案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

環境水道 委員会

委員長：山中和男 副委員長：山田弘之
委員：原田洋二 鈴木 篤 小澤 浩
小沢宏至 植田年美 廣瀬集一

◆議案第110号 甲府市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、他都市における手数料の動向を注視するなど、継続的に調査していくよう求める意見がありました。

◆議案第111号 区域外における公の施設の設置に関する協議について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、笛吹市と連携を図る中で、適切に維持管理を行っていくよう求める意見がありました。

◆議案第97号 甲府市簡易水道等事業の設置等に関する条例制定について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

総務 委員会

委員長：長沼達彦 副委員長：神山玄太
委員：坂本信康 鮫田光一 金丸三郎
清水 仁 兵道顕司 清水英知

◆議案第122号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について 他2案

3案については、社会経済情勢や本市の財政状況が好転していないことから、議員及び特別職の期末手当を引き上げることには反対であるとの意見と、人事院勧告等に鑑み公民格差を解消し、職員との均衡を図る中で、議員及び特別職の期末手当を引き上げることには賛成であるとの意見があり、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第98号 甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について 他2案

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第118号 公平委員会委員の選任について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

経済建設 委員会

委員長：長沢達也 副委員長：望月大輔
委員：荻原隆宏 池谷陸雄 末木咲子
興石 修 堀とめほ 藤原伸一郎

◆議案第95号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第3号)中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、通学路等における子どもたちの安全確保を図るため、引き続き危険箇所への対応を迅速に行っていくよう求める意見や、アフリカ豚コレラ対策として養豚農家に対し十分な支援を求める意見がありました。

◆議案第96号 令和元年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第1号) 他6案

7案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆請願第1-8号 リニア中央新幹線の騒音の低減に関する請願

地域住民の良好な日常生活や教育環境を維持していく観点から、リニア中央新幹線の騒音を低減する必要性を感じているものの、現状において、リニア中央新幹線の騒音を環境省の環境基準である55デシベルに低減することは技術的に困難な状況にあり、今後の技術革新の動向を注視する必要があることから継続審査を求める意見と、沿線住民の生活と健康、子どもたちの教育環境を守る観点からリニア中央新幹線の騒音の低減を求めることは必要であるが、JR東海の調査結果では防音防炎フードを設置した状態においても60デシベル以下にすることは困難であるとされており、また、山梨県はリニア中央新幹線の騒音の環境基準を環境省の新幹線鉄道騒音に係る環境基準である70デシベルを準用していることから、現時点において、その上限を55デシベルという技術的に達成困難な基準の設定を求めることは、リニア中央新幹線を推進する立場としては賛成できないことから不採択とすべきとの意見があり、採決の結果、多数をもって不採択とするものと決しました。

○討論を行いました。

家庭的保育事業の基準緩和や、使用料・手数料の見直しを含む、議案第 101 号から議案第 106 号までの 6 案については、3 人の賛成議員と 1 人の反対議員により活発な討論が交わされ、採決の結果、賛成 27 人、反対 4 人をもって可決いたしました。

令和元年12月定例会 審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政 友 クラブ	創 政 こうふ	公明党	こうふ 未 来	日 本 共産党	こうふ クラブ
議案第95号	令和元年度甲府市一般会計補正予算(第3号)	12月17日	可決	○	○	○	○	○	○
議案第96号	令和元年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第97号	甲府市簡易水道等事業の設置等に関する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第98号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第99号	甲府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第100号	甲府市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び甲府市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第101号	甲府市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第102号	甲府市斎場条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第103号	甲府市市立高等学校授業料、入学科及び入学審査料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第104号	甲府市市立甲府商科専門学校授業料、入学科及び入学検定料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第105号	甲府市立学校校舎等使用料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第106号	甲府市スポーツ広場条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第107号	甲府市農業委員会の委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第108号	甲府市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第109号	甲府市都市公園条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第110号	甲府市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第111号	区域外における公の施設の設置に関する協議について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第112号	笛吹市の公の施設を利用することに関する協議について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第113号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第114号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第115号	指定管理者の指定について(甲府市地方卸売市場)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第116号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第117号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第118号	公平委員会委員の選任について	//	同意	○	○	○	○	○	○
議案第119号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第120号	令和元年度甲府市一般会計補正予算(第4号)	//	可決	○	○	○	○	×	○
議案第121号	令和元年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第122号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第123号	甲府市職員給与条例及び甲府市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第124号	特別職の職員で常勤のものの期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第125号	甲府市学校職員給与条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○

会派構成については、6 ページの議席図をご確認ください。

○賛成 ×反対

◎人事案件については、次のとおり同意されました。

◆公平委員会委員の選任について 又川理恵

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について 矢貝野武雄 (敬称略)

令和元年12月定例会 請願審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請 願	第 1 - 1 号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	総 務	取り下げ (承認)
	第 1 - 8 号	リニア中央新幹線の騒音の低減に関する請願	経済建設	不 採 択
	第 1 - 2 号	核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	総 務	継続審査
	第 1 - 3 号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	//
	第 1 - 4 号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第 1 - 5 号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第 1 - 6 号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	経済建設	//

市議会の調査・研究活動がスタートしました。

市議会の活性化を図り、議員の資質向上に資するため、調査研究会を設置し、正副議長を除く議員30名がテーマごとに分かれ、調査・研究活動をしています。

議会制度調査研究会

・議会改革について



リニア・公共交通調査研究会

・リニア中央新幹線について
・公共交通について



まちづくり調査研究会

・連携中枢都市に
ついて
・甲府城周辺整備に
ついて
・立地適正化について



3月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
2/24	25	26 本会議 (開会)	27 休会	28 休会	29	3/1
2	3	4	5	6	7	8
本会議(市政一般質問)			常任委員会			
9	10	11	12	13	14	15
休会	本会議	休会	予算特別委員会			
16	17	18	19	20	21	22
予算特別委員会						
23	24 本会議 (閉会)	25	26	27	28	29

3月定例会は、本会議と常任委員会に加え、予算特別委員会も開催します。ぜひ、傍聴にお越しください。

また、本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継のほか、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映します。

「自動血圧計」をご寄附いただきました。

マコト医科精機株式会社様より「健康都市宣言」を記念して、市議会へ自動血圧計及び架台セットをご寄附いただきました。

これを機に、議員自らがこれまで以上に健康に留意するとともに、議会活動を通じて甲府市全体の更なる健康づくりに努めてまいります。



編集後記

本号では、11月に開催された「市民と議会の交流会」の様子と、12月定例会の内容を中心にお届けいたしました。甲府市議会は、より「開かれた議会」を目指し、テレビやインターネットによる議会中継など、様々な媒体による情報発信を行っています。そして、この「議会だより」も変わっていきます。

ぜひ、今後の展開にご期待ください！

広報委員 寺田義彦

甲府市議会広報委員会

委員長：金丸三郎 副委員長：植田年美 委 員：深沢健吾 寺田義彦 堀とめほ 神山玄太 木内直子 山田弘之

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉